

1.3W×2灯フリーアーム式LEDソーラーセンサーライト

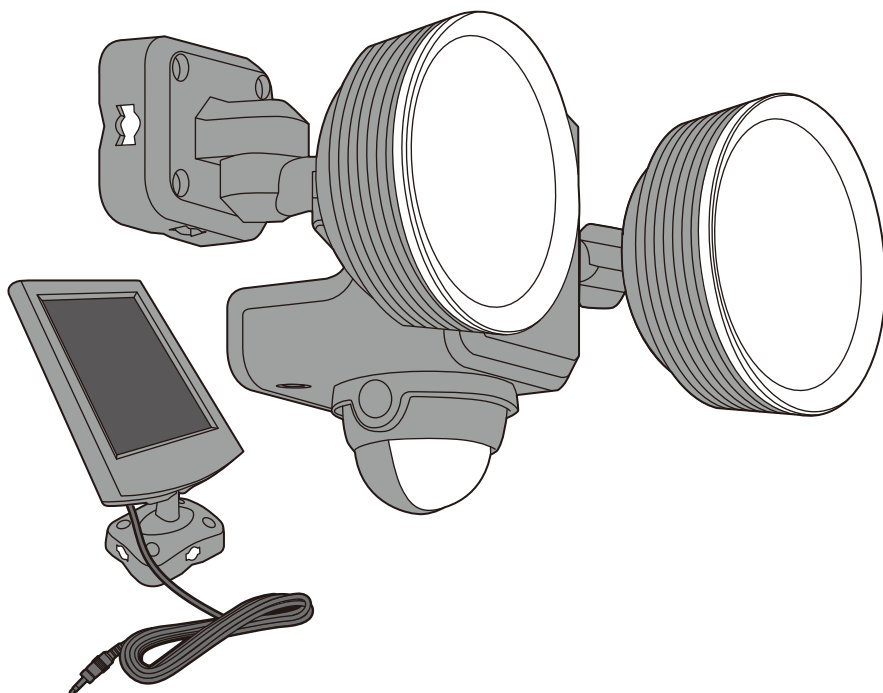
取扱説明書

保証書

この度は、**RITEX** ライテックス 1.3W×2灯フリーアーム式LEDソーラーセンサーライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書は、お読みになった後も大切に保管してください。





1. 安全上のご注意


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。


■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 **注意** 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

ソーラーパネル、充電池について

ソーラーパネルのケーブルを破損させない



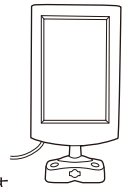
禁止

ソーラーパネル



ソーラーパネルのケーブルを破損する、無理に曲げる、加工するなどしない。
また、重いものを乗せる、挟み込むなどしない。
火災、感電、故障の原因になります。

専用のソーラーパネルを使用する



火災、感電、故障の原因になります。

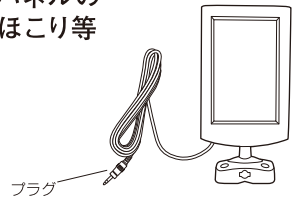
ソーラーパネルのケーブルが傷んだ時(芯線の露出、断線など)は、使用しないでください



禁止

そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。

ソーラーパネルのプラグのほこり等を取る



時々点検してください。
ソーラーパネルの接続プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

絶縁不良やショートで火災、感電の原因になります。

充電池より異臭、発熱、変形に気が付いた時は



ソーラーパネルの差込ジャックを本体から外し、充電池を外して、弊社にご相談ください。
注意：充電池の取外しは素手で触らないよう注意してください。

充電池を交換の時は



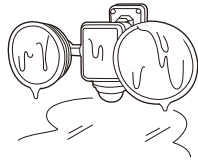
濡れた手や、本体が濡れた状態での、充電池交換はしないでください。交換の際は、ソーラーパネルの差込ジャックを本体から外した状態でお取替えください。
感電、故障の原因になります。

ご使用や設置について

本体は大量の水がかかる場所に設置しない



禁止

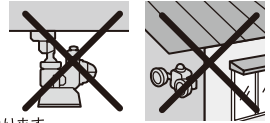


通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありません。※防雨構造はIP44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。故障の原因になります。

屋内・屋外に関係なく斜め向き、下向き、逆さまに取付けない



禁止 故障の原因になります。



点灯中はLEDライト部を直視しないでください

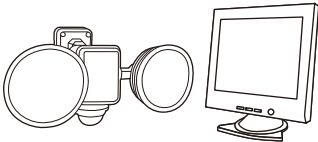


禁止 目を痛めるおそれがあります。

家電製品の近くで使わない



禁止



テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、電話、ファックス、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。故障、誤動作の原因になります。

付属品を使用する



必ず付属品で取付け、配線をおこなってください。

落下、故障の原因になります。

引火性溶剤は使わない



禁止

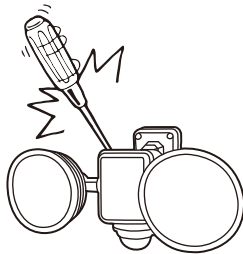


清掃のときは、水で濡らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。火災、感電の原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止



修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。火災、感電、故障の原因になります。

燃えやすい物の近くに取付けない



禁止



布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けないでください。昼でも本体に物(布団や布等)を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。火災の原因になります。

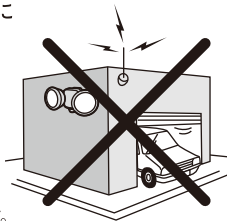
⚠ 注意

ご使用や設置について

電圧を出す器具の近くに取付けない



禁止



故障、誤動作の原因になります。

モーターや磁場を発生させる装置の近くに置かない



禁止



故障の原因になります。

※本機は本格的な防犯機器ではありません。強盗・盗難などの被害における責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

2. 取付け前の注意

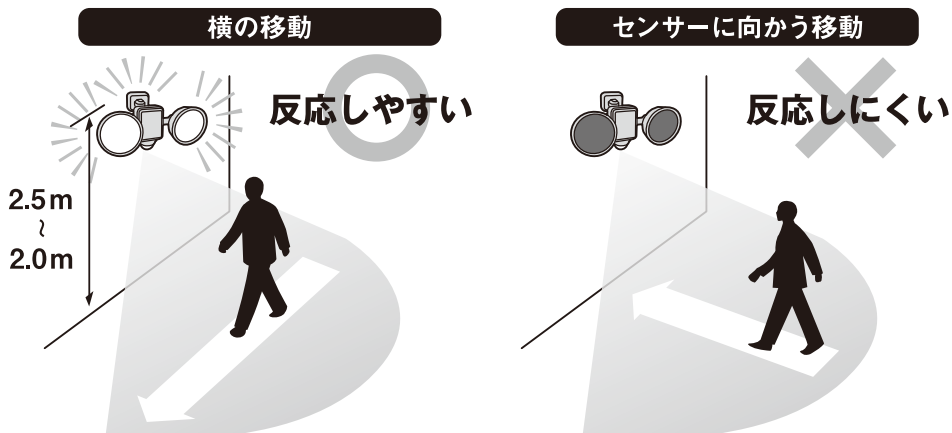
■ センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、
図のような場所に取付けると、誤動作や作動しないときがあります。



3. センサーの探知の注意

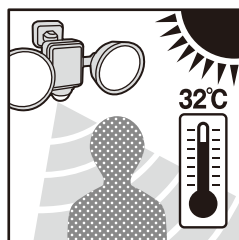
■ センサーは、最長前方約6m/左右約140°の範囲で人を探知しますが、取付け環境でセンサー探知が変化します。

① 先ず仮設置して動作を確認してください。



- ・ 取付け高さは2.0～2.5mが最適です。
- ・ 取付け高さは最高3mまでです。
- ・ 取付け高さを半分にするると探知範囲は、図の半分になります。

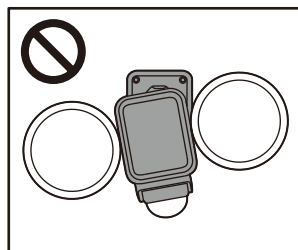
② 夏はセンサーの感度が鈍くなります。



センサーは人を熱として探知するため、体温と気温の差が減少する夏は反応が極端に鈍くなります。

センサーの特性によるもので故障ではありません。

③ 本体が左右に傾いているとセンサーが誤作動します。



本体は正面から見て地面と水平になるように調整してください。センサーが探知したい方向に向かない恐れがあります。

※ “8.本体の向き調整”を参照してください。

4. ご使用前にご確認ください

ご使用前に必ず下記の事項をご確認の上、安全にご使用ください。
指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

確認
チェック

ご購入後は充電が不十分です。
晴天の日に約2日間充電した後、
使用してください。

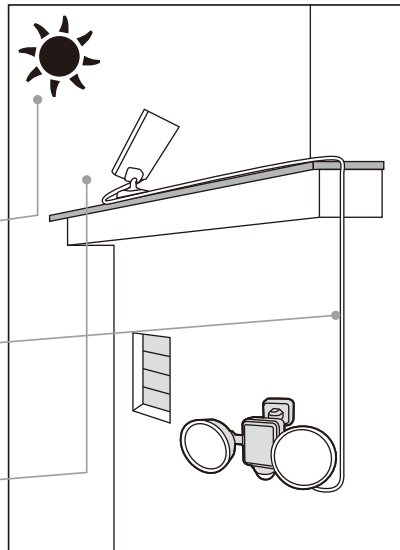
数日間天候の悪い日が続くと充電が不十分になります。
※ソーラーパネルの差込みジャックが本体に
しっかり差込まれているか確認してください。

確認
チェック

ソーラーパネルの
コードは約5mです
本体との距離を確認の上、取付けてください。

確認
チェック

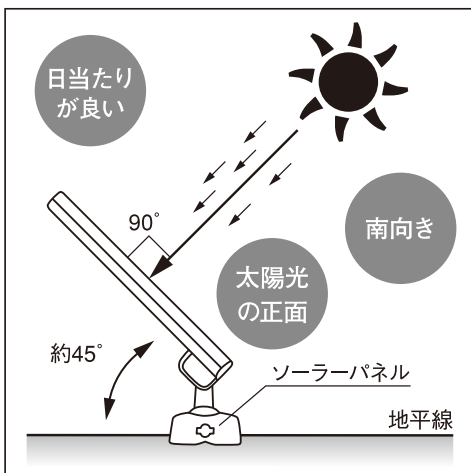
ソーラーパネルを
正しく取付けてください
※「13.ソーラーパネルの取付け方」参照



取付けは確実に！

本体・ソーラーパネルは、安全な場所に確実に取付けてください。
また、事故を防ぐ為、安定した足場や十分な作業スペースを確保してください。
※「12.本体の取付け方」、「13.ソーラーパネルの取付け方」参照

ソーラーパネルの取付け場所

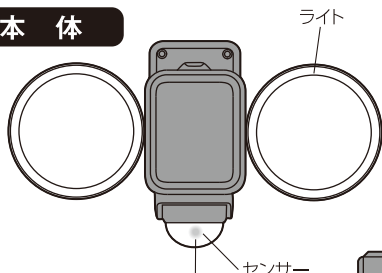


- 1 直射日光の当たる南向き
- 2 地平線の上方向約45°
- 3 日照時間の長い場所
- 4 木やビル等、太陽光を妨げるものがない場所
- 5 太陽光に対し正面になるようソーラーパネルの角度を調節

※地平線に対し約45°がもっとも充電効率のよい角度です。

5. 部位説明

本体



状態表示用赤ランプ

- ・待機時は約5秒に1回点滅
- ・センサー探知時は高速点滅
- ・充電不足時は1秒に1回点滅

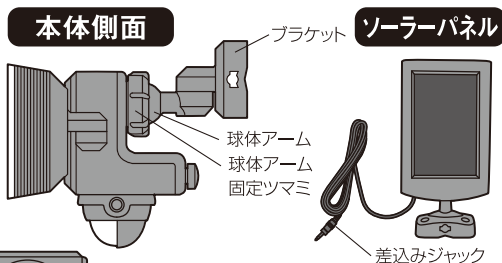
※充電電池が完全に放電している場合は点灯しません。

センサー

ソーラーパネル
電源用ジャック
差込口

底面

本体側面



付属品



単3形ニッケル水素充電電池
×3本

取付けネジ
×4本

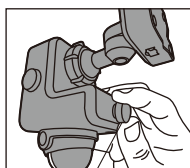
プラスチック製プラグ
×4本



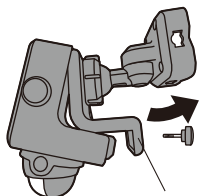
差し込みジャック

6. 充電電池の入れ方

- ① 電池蓋固定ネジを緩め、
電池蓋を外します。

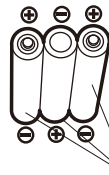
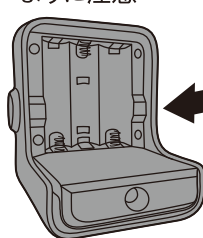


電池蓋固定ネジ



電池蓋

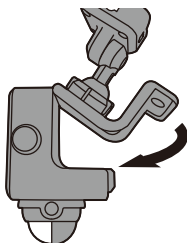
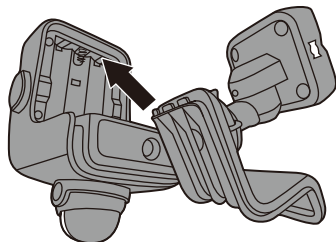
- ② 付属の単3形ニッケル水素充電電池3本を
入れます。
※プラスマイナスの向きを間違わない
ように注意



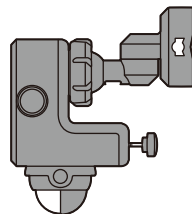
単3形ニッケル水素充電電池

注意：単3アルカリ乾電池は使用しないでください。故障の原因になります。

- ③ 電池蓋上部の3つの爪を本体に引っ掛け
電池蓋を取付けます。



- ④ 電池蓋固定ネジで
しっかり固定します。



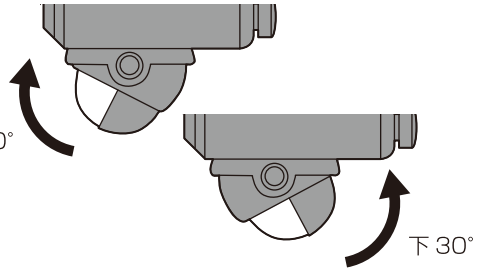
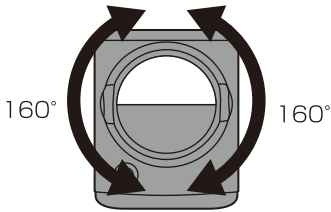
注意

電池を交換する際には、万一電池が落下しても怪我や事故が起こらないよう充分注意して交換を行ってください。

7. センサーの向きの調整

・左160° 右160° 回転します。

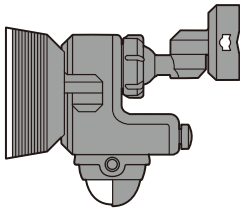
・上30° 下30° 回転します。



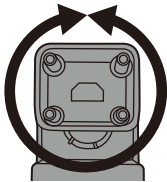
8. 本体の向きの調整

■ 本体全体をお好みの方向に向けます。

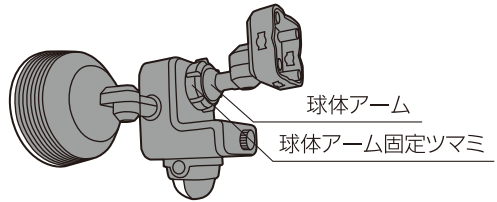
① 出荷時の
ブラケットの位置



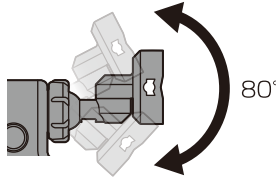
・360° 回転します。



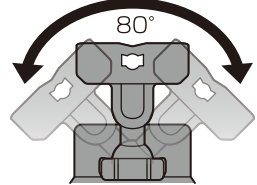
② 球体アームの角度調整は球体アーム固定ツマミを手で
少し緩め本体を向きたい方向に向け、締めて固定します。



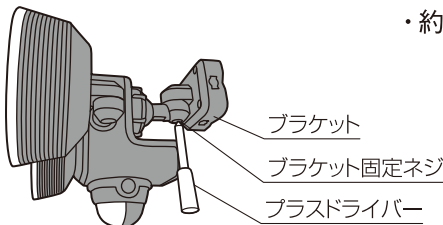
・約80° 回転します。



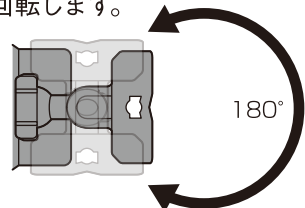
・約80° 回転します。



③ ブラケットの角度調整はブラケット固定ネジをプラスドライバーで少し緩め
本体を向きたい方向に向け、締めて固定します。



・約180° 回転します。

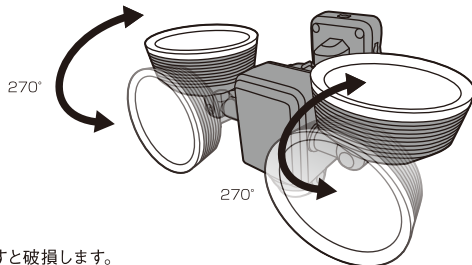


※ 球体アームの角度調整と合わせて調整すれば左右上下自在に調整できます。

9. ライトの上下の向き調整

■左右のライトを照らしたい方向に向けます。

- ・ライト上90°
下180°回転します。

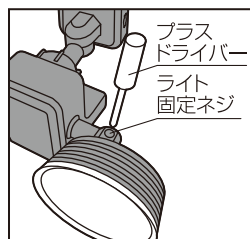
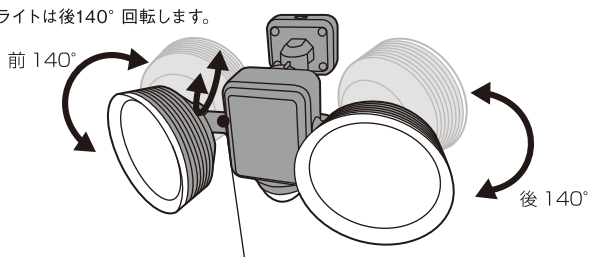


※可動範囲以上に無理に回すと破損します。

10. ライトの横向き調整

■左右のライトを照らしたい方向に向けます。

- ・左右のライトは後140°回転します。



※“9. ライトの上下の向き調整”で下180°に回転させると前後の回転が逆になります。

※左右の固定が緩い場合、プラスドライバーでライト固定ネジを少し締め調整してください。

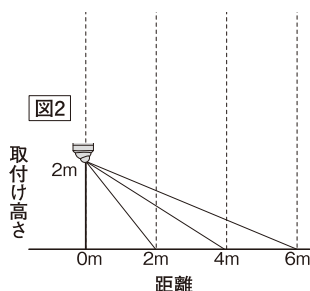
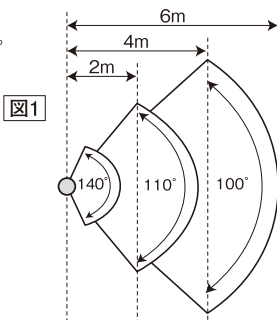
11. センサーの探知範囲

■センサーは、最長約6m×140°の範囲で動く人を探知します。

※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

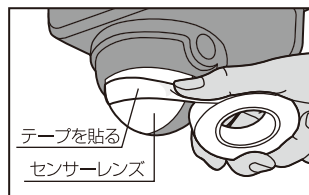
※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

- ・取付け高さが2mの場合の探知範囲です。
- ・取付け高さは最高3mまでです。
- ・取付け高さを半分にするると探知範囲は、図の半分になります。



探知範囲を狭くする

- ・探知範囲を狭める場合はセンサーレンズに透明白色のビニールテープを貼ります。
(セロハンテープは薄いので二重に貼ってください)
 - ・上面に貼ると探知距離が短くなります。
 - ・側面に貼ると探知角度が狭くなります。
- ※センサーレンズ内に明かりセンサーも内蔵されていますので色の濃いビニールテープを貼ると夕刻や昼間でも点灯を開始する場合があります。



12. 本体の取付け方

壁に直接ネジで取付け

・ブラケットの4つの穴から対角に穴を2つ選び、キリ、鉛筆等をブラケットの穴に通し、壁等に印を付けます。

(アルミ板、薄鉄板の場合は)

印に電気ドリル等で $\phi 3.3\text{mm}$ の穴を開けます。

(木の場合は)

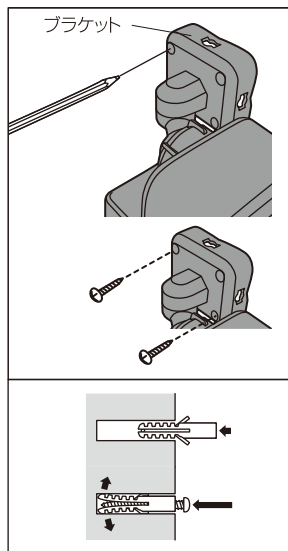
印に電気ドリル等で $\phi 3\text{mm}$ の穴を開けます。

・付属の取付けネジでブラケットを取付けます。

※ブラケット穴は4個ありますが対角の2個の穴を2本のネジで取付けます。

(コンクリートの壁の場合)

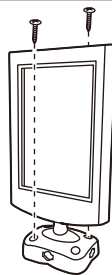
振動電気ドリル等で $\phi 6\text{mm}$ の穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。付属の2本の取付けネジでブラケットを取付けます。



13. ソーラーパネルの取付け方

壁に直接取付ける場合

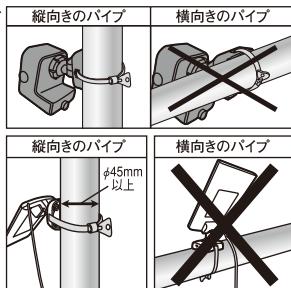
1. 木製の壁等に取付ける場合、付属のパネル取付けネジ2本で、4つの穴から対角の穴2つを選び固定してください。
※ $\phi 3\text{mm}$ の下穴を開けてから行ってください。
2. コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板への取付けは、「12.本体の取付け方」と同様です。



市販のステンレスバンドでの取付け方

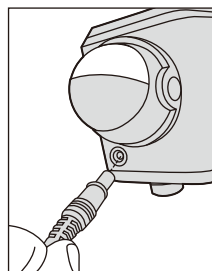
市販のステンレスバンド（幅10mm）を、ブラケットの左右の穴に通して取付けることもできます。

縦向きのパイプには取付けできますが、横向きのパイプに対しては、本体の重みで回転してしまう可能性があるので取付けないでください。



ソーラーパネルの差込ジャックの差し方

ソーラーパネルの差込ジャックを本体の差込み口に奥までしっかり差込みます。



別売クランプセットを使用して取付け

別売クランプセット SP-5

価格はお問い合わせの販売店にお問い合わせください。



L型ボルト×1本



クランプ台×1個



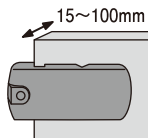
蝶ナット×1個



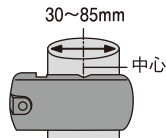
ネジキャップ×1個

クランプ台で挟む取付け方

△注意 クランプ台での取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。



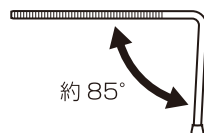
角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。



丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。

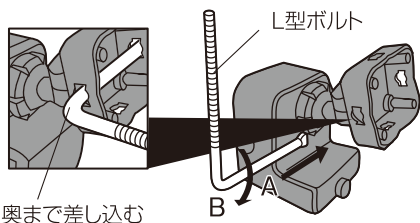
L型ボルトの形状

※クランプ台で挟み込む力を最大限に生かす為、L型ボルトは90度ではなく約85度の角度に曲げています。



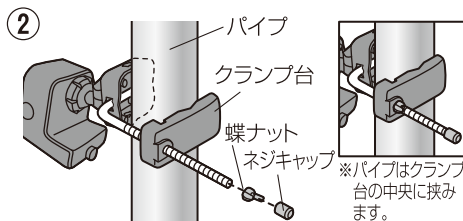
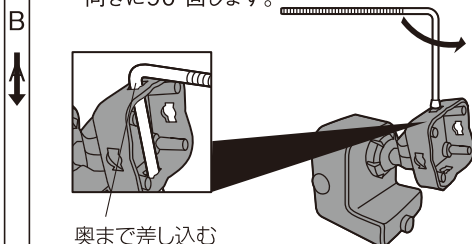
縦向きの場合

- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。

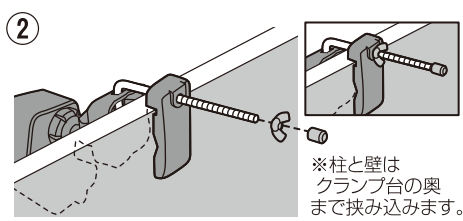


横向きの場合

- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。



L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

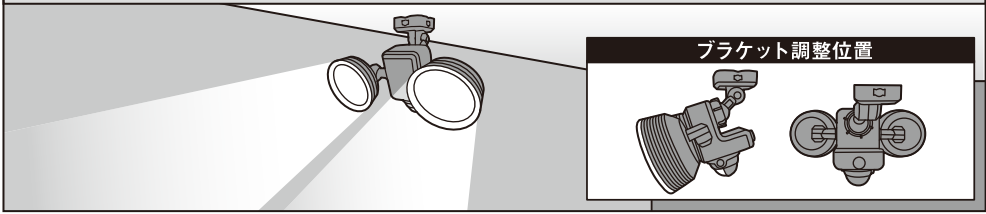


L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

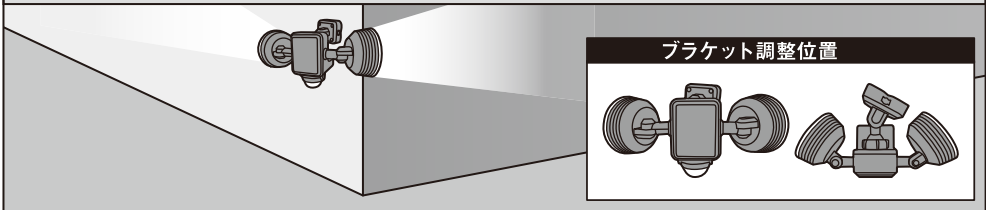
14. 設置例

※本機の箱の設置例の写真も参考にしてください。

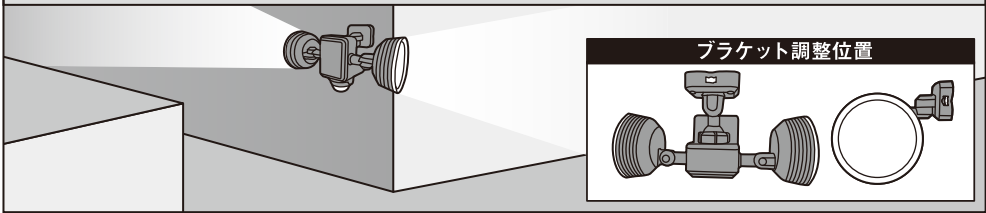
天井の設置



コーナーの設置

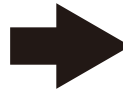
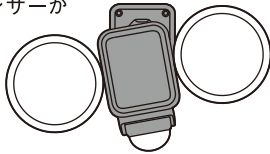


狭い通路の設置

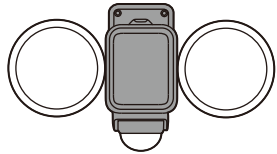


設置後の本体位置の確認

・本体が正面から見て傾いているとセンサーが誤作動します。

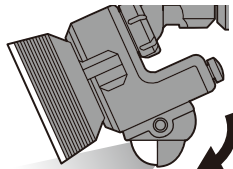


・正面から見て地面と水平にします。

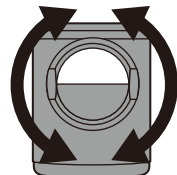


センサー位置の確認

・センサーが下に向き過ぎていると探知距離が短くなります。

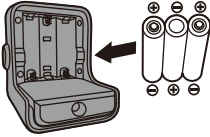


・センサーを探知したい方向に向けます。



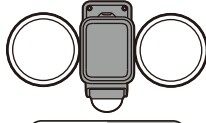
15. センサーの動作テスト

- ① “6.充電電池の入れ方”を参照して充電電池を入れます。



※スイッチはありません。充電電池を入ると電源ONになります。

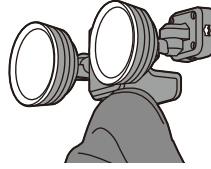
- ②電池を入るとライトが点灯します。



点灯 ▶ 消灯

初期動作安定のため、約5～30秒後に消灯します。
※点灯中は、探知範囲に入らないでください。
※製品・設定により、点灯時間が異なる場合があります。

- ③センサー部を完全に黒い布を被せ、夜間の状態を作ります。



- ④黒い布に手を入れセンサーレンズに近づけ、点灯したら手を抜きます。



点灯 ▶ 消灯

※手を抜き取ってから約10秒後に消灯します。

- ⑤基本動作の確認が完了しました。“8.本体の向き調整”を参照に取付けてください。

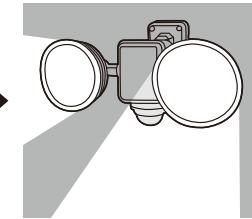
※上記の動作確認で点灯しない時は充電電池を正しく入れているか、“4.ご使用前にご確認ください”を参照し2日間以上充電してください。

16. センサー探知の確認

- ① “11.センサーの探知範囲”と“12.本体の取付け方”を参照して設置してください。

※人や車の往来が激しい場所や近くに設置すると不要な点灯や誤作動が多くなり、早く電池が消耗しますので設置をさけてください。

- ②夜間の暗くなってから探知の確認を行います。



※昼の明るい時は点灯しません。

- ③センサーの探知範囲に入り、点灯したら、センサー探知範囲から出ます。

点灯 ▶ 消灯

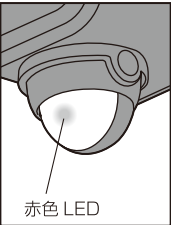
※約10秒後に消灯します。

※探知範囲にいつまでも人が居ると点灯が延長され消灯しない場合があります。

17. 状態表示赤色LEDについて

センサーレンズ内の赤色LEDで本機の状態を確認します。

※赤色LEDは微かな明るさです。周囲が暗くなってから確認してください。



赤色LED



- ① 5秒に1回点滅

電池が入っています。正常な待機状態です。



- ② 高速に点滅

センサーが探知→ライトLEDが点灯します。※周囲が明るい場合はセンサーが探知するとライトLEDは点灯しなくても高速点滅します。



- ③ 1秒に1回点滅

充電不足です。“4.ご使用前にご確認ください”を参照し2日間以上充電してください。



- ④ 点灯しない

充電電池が入っていません。充電電池を入れてください。または、充電不足です。

18. 部品交換について

バッテリー（1.2v 1000mAh×3本）のお買い求めについて

バッテリーは本機をお買い上げの販売店へご注文してください。尚、入手困難な場合は直接弊社にご注文いただければお送り致します。

替バッテリー

[品番 S-15LB]
ニッケル水素充電電池
1.2v 1000mAh×3本
価格はお買い求めの販売店にお問い合わせください。



※但し、代金は前金でお願いします。郵便切手でも結構です。

19. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。



本体をベンジンやシンナーや研磨剤で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。ひび割れ、引火、感電のおそれがあります。



本体の取付けネジやクランプは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。



ソーラーパネルの表面の汚れの拭きとりは、年に1~2回実施してください。中性洗剤、又は水をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭きとります。



ソーラーパネルとライト本体の取付けネジは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。

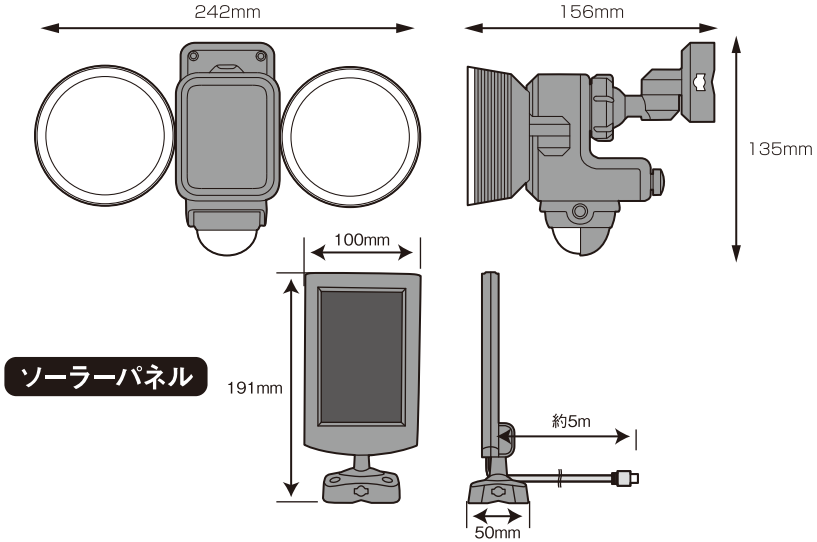


※本機は防水構造ではありません、散水ホース等での水洗いはしないでください。故障や引火感電のおそれがあります。

20.故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	バッテリーの充電不足。	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる) 晴天日の約2日間で満充電にする。
	昼または明るい場所に設置している。	明るい場所では点灯しません。夜または暗い場所に設置してください。
	ソーラーパネルのジャックが本体から外れている。	ソーラーパネルのジャックを本体の差込口に差込む。
	ソーラーパネルのケーブルが傷んでいる(芯線の露出、断線など)。	使用を中止してください。本体、ソーラーパネルの一式を当社宛てに修理としてお送りください。
	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調節する。(探知させたい方向に向ける)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている。	他の照明器具の光が入らない場所に設置する。“11.センサーの探知範囲”を参照にレンズ上部に黒のビニールテープを貼付する。
消灯しない	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動する。
探知範囲に人がいないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある(例) ・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている。 ・風などでよくゆれる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等)	誤動作源を取り除く(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する)
探知範囲に人がいるのに消灯する	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人は性能上探知できません。
探知距離が短い	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	センサー方向がずれている。	センサーを探知させたい方向に向ける。

21. サイズ



22. 仕様

本体		ソーラーパネル	
電球	1.3W高輝度白色LED×2 (設計寿命約4万時間) ※1 全光束約220ルーメン		
電源	充電電池	単3形 ニッケル水素充電電池 1.2v 1000mAh ×3本	
1日平均点灯回数		春夏秋 平均約80回 冬 平均約50回(満充電時約300回) ※春夏秋=充電可能な平均日照時間 約3時間 冬 =充電可能な平均日照時間 約2時間(東京)	
センサー	探知方式	焦電型赤外線センサー	
	探知範囲	約140° 最長約6m	
点灯時間設定		約10秒(固定)	
点灯開始照度		周囲が暗い時のみ点灯	
サイズ(mm)		約幅242mm×奥行156mm×高さ135mm	
重量		約400g(クランプ、充電電池除く)	
クランプ取付サイズ (別売のSP-5使用時)		・厚み/最小約15mm~最大約100mm ・パイプ径/最小約30mm~最大約85mm	
設置場所		屋内・屋外用(防雨タイプ IP-44)	
種類	結晶太陽電池		
出力	出力 5.5V 0.5W		
サイズ	約幅100mm×奥50mm ×高さ191mm(クランプ除く)		
コード長さ	約5m		
クランプ取付サイズ (別売のSP-5使用時)	・厚み/ 最小約15mm~最大約110mm ・パイプ径/ 最小約30mm~最大約75mm		
重量	約220g(クランプ除く)		
設置場所	屋外用(防雨タイプ IP-44)		

※1 LED球は交換できません。

LED球の寿命は設計寿命であり製品の寿命を保証するものではありません。

